別記様式

平成30年度学校評価報告書

平成31年２月28日

北海道教育委員会教育長　様

北海道小樽潮陵高等学校長

次のとおり平成30年度の学校評価について報告します。

１　本年度の重点目標

（１）多様な生徒に対応した懇切丁寧な指導を行い、教科・学年・学校全体が連携して、自主的学習態度を持った高い学力を有した生徒を育てる。
（２）生徒の進路実現のために全力で支援するとともに、医進類型の充実や大学との連携によって、高い進路意識を持った生徒を育てる。
（３）部活動・生徒会行事・諸活動を通して、生徒が生き生きとした学校生活が送れるよう支援するとともに、生徒の自主性、創造性、協調性、公共心などを育む。

２　自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	・生徒の理解度に応じて、講習・添削指導等により個々の生徒の学力向上に努めた。 ・新学習指導要領の理解を図るため各種研修に努め、今後の教育課程について検討を進めたが、さらなる充実が必要である。	・今後の教育課程の検討やシラバスの活用についてはさらに取組を進めていく必要がある。 ・生徒の学力レベルや気質の変化への対応が必要である。
改善方策	・新学習指導要領の内容に関する研修を一層充実させて教員の理解の深化を図る。また、今後の大学入試で求められる力の育成を確実に行うことができるよう、指導内容や指導方法について検討を進めるとともに、育成すべき資質・能力を踏まえた新たな教育課程の編成を進める。	
進路指導	・生徒の進路実現に向けて、計画的に進路指導を実践し、きめ細かな指導を実践したが、講習計画については今後改善の余地がある。 ・定時制においては、随時進路情報の提供、進路相談に努め、進路選択を支援した。	・講習の実施に当たって、改善が必要と感じている教員もいることから、今後、改善について検討する必要がある。 ・定時制においては、丁寧な指導を行っているが、生徒の進路意識のさらなる育成が望まれる。
改善方策	・講習計画について再度検討するとともに、キャリア教育の一層の充実を図り、職業観の育成に努める。	
生徒指導	・日常的に教職員間で情報の共有に努め、いじめの未然防止・早期発見に努めた。 ・全定ともに教育相談の充実に努め、ＳＣを積極的に活用して生徒を支援する体制を構築することができた。	・概ね良好であるが、一部の保護者には不満もあるようなので、保護者との一層の情報の共有に努める必要がある。 ・定時制においては、ルールやマナー遵守についてさらに指導が必要がある。
改善方策	・学校での各種指導の状況について、HPを活用するなどして保護者に周知する。 ・定時制においては、学校生活全体を通してルールやマナーの指導を徹底する。	
保健・安全指導	・生徒の健康管理や安全管理に向けた環境整備を適切に行うことができた。 ・適時保健だよりを活用するなどして、適切な保健指導・安全指導がなされていた。	・老朽化した校舎やトイレなど施設設備の早急な更新や整備が望まれる。 ・定時制においては、概ね良好であるが、生徒の各種相談に対応する体制の充実が望まれる。
改善方策	・校舎については、次年度から２カ年にわたる大規模改造工事により改善される見込み。 ・生徒が相談しやすい体制づくりについて検討し、体調管理や生活リズムの確立を図る。	
公表方法	・PTA通信　・WEBページ　・PTA役員会等各種会合	

３　添付資料

（１）全日制課程学校評価集計結果（教職員・学校評議員）　２部
（２）定時制課程学校評価集計結果（教職員・学校評議員）　２部
（３）全日制課程保護者アンケート集計結果　２部
（４）定時制課程保護者・生徒アンケート集計結果　２部
（５）学校評議員による学校関係者評価（全日制課程）　２部
（６）学校評議員による学校関係者評価（定時制課程）　２部